

奈良中心市街地交通処理対策検討委員会 設立趣旨

奈良県北部地域の奈良市・大和郡山市域は、古くは、いにしへの都「平城京」を擁し、世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとする重要な史跡・文化財が数多く点在する古都の歴史を彷彿とさせる地域である。そのため、この地を訪れる観光客は後を絶たず、観光交通は年々増加の一途をたどっている。

当地域では、現在、京奈和自動車道大和北道路が計画中であり、奈良県において都市計画及び環境影響評価の手続きを進めているところである。大和北道路の奈良市域については、奈良市中心部へのアクセス性を高めるため（仮称）奈良ICの設置を計画しており、大和北道路の供用により奈良中心市街地の交通状況が大きく変化することが予想される。

これまで、春、秋の観光シーズン時には、国、奈良県、奈良市が連携して、パーク&ライドを実施するなど、関係機関が渋滞緩和策を検討し、施策を実施してきているが、今後は京奈和自動車道大和北道路など、計画中の道路が整備された場合についても考慮した上で、奈良中心市街地における交通処理のあり方等を検討し、交通処理計画の具体案を策定するため、委員会を設置するものである。